



## 50 自病院で総合窓口での患者対応が可能な言語数 (日本語を除く)

<p><b>解説</b></p>	<p>外国人患者受入に関する体制を示す指標です。医学部附属病院,歯学部附属病院ともに中央値が1.00となっておりますが,医学部附属病院で最大値14.00と複数の言語対応が可能な大学病院もあります。</p> <p>なお,今回平成28年度より新規に調査を行ったため,平成28年度の数値のみを提示しております。</p>												
<p><b>実績</b></p>	<table border="1"> <caption>実績データ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>言語数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	年度	言語数	平成24年度	0	平成25年度	0	平成26年度	0	平成27年度	0	平成28年度	4
年度	言語数												
平成24年度	0												
平成25年度	0												
平成26年度	0												
平成27年度	0												
平成28年度	4												
<p><b>定義</b></p>	<p>各年6月1日時点での,自病院で総合窓口での患者への対応が可能な言語数(通訳業務委託,ボランティアによる通訳サービスなどを含みます)です。</p> <p>なお,中国のように北京語,広東語など複数の言語を使用する場合でも,言語数は1(中国語)でカウントしています。</p>												